

2015年6月4日

秋田県精神障害者ボランティア研修会講演

演題「ボランティア30パーセントでいいんだよ」

県内で活動をしている精神障害・適応障害等、心の疾病をもつ人々のケアや寄り添いボランティアをしている団体の総会・研修会でした。

身体が目に見える障害とおおきく違うところはひとりひとり全く違う状況であるということでしょう、通常の生活に適応しづらく、偏見や阻害もあり、引きこもりがちになります。

養護学校等卒業し地区の支援センターなどに通所出来ている人はまだ社会とのつながりがありますが、施設への入所が出来ずに親御さんだけのケアで暮らしている人もいます。障害者を含め家族の支援をしているのがこのボランティアの特徴です。

年に一度活動報告や障害者を取りまく県条例、市町村の実施状況などの情報伝達、会計報告等の総会が午前中にあり午後からは講演と唄と手話を交えたオリエンテーションでした。

女性陣の明るさやパワーがみなぎっていて和気あいあいの講演になりました。ボランティア全体の話とこれからのボランティアの出来る事など話会いそのなかで新規事業のボランティア専隊の話もさせていただきました。共同募金からの助成金で出来上がったばかりのパネル等を使用しデビューをさせていただきました。

障害を持つ人の高齢化がすすんでいます疾病者数も増えています。

国は福祉の予算をおおはばに削る予算案を出してきました。これの善し悪しは別として地域を支える「互助」のボランティアの重要性を訴え続けねばなりませんね。

参考資料、秋田県障害者施策会議録より

疾病別にみた秋田県の精神障害者数 単位：人（各年度末現在）

1統合失調症 2気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む） 3てんかん 4 脳器質性精神病

5中毒性精神病 6 精神遅滞 7精神神経症 8その他 9合計の順に並んでいます。

平成17年度 6,560 2,575 1,281 2,853 732 450 530 755 **15,736**

平成21年度 7,768 3,880 1,700 4,181 862 844 901 718 **20,854**

平成25年度 8,483 5,396 1,913 5,060 987 966 1,477 908 **25,190**

計 25,190 名中入院者数はおよそ 4000 人です。

知的障害者数は含まれません。